

SL エスエル 医療グループ

ニュース

No.168 2024.12

発行所 名古屋市中区新栄町1-3 エスエル医療グループ 編集部(鈴木・大野・吉田・玉井・森川・金子) 発行日 2024年12月1日



「貝合せ」 颯田圭子氏

今月のことば

令和6年10月より、長期取藏品（後発医薬品のある先発医薬品）の処方、調剤に選定療養が導入され、薬剤費における患者の負担が増える場合が考えられます。

今回の選定療養制度の導入により、後発医薬品のある先発医薬品を希望する場合、後発医薬品使用で副作用が出たとか、明らかに後発医薬品で先発医薬品との間で効果に差があったなどの理由がない限り、選定療養費として、後発医薬品と先発医薬品の価格差の4分の1を追加負担しなければなりません。

これによって、後発医薬品の利用が多くなり、今でも咳止めなどは後発医薬品の供給不足があり、これが更に悪化する懸念があり、患者の不利益となる恐れがあります。

今回のような選定療養制度の導入は再考して貰いたいと思います。(K.S)

〈目次〉

今月のことば	1
5分でマスターする人類史	2～3
……………古井脳神経外科 院長 古井倫士	
ご挨拶	4
……………つじ泌尿器科クリニック 院長 辻 克和	
クリニックに求められる関節リウマチの 患者さんのプライマリケア	5
…………… ぽっとり整形外科リウマチクリニック 院長 服部陽介	
クリスマスケーキ	6
…たまい眼科ほのほのクリニック 院長 玉井浩子	
年末年始休診日	7
栄 (SL 医療グループ) 近辺一46	8
NHK 朝ドラの「虎に翼」を見て感じた事	
……………森川クリニック 院長 森川建基	

5分でマスターする人類史

古井脳神経外科 院長 古井倫士



前々回のSLニュースで卑弥呼を例に片頭痛に苦しんだヒトは弥生時代にもいたであろうと述べた。なら、探れば縄文時代にもその存在を指摘できるかもと筆を擱いて気が付いた。歴史の教科書によれば弥生時代は紀元前3世紀から世紀3世紀までの600年間とし、縄文時代は紀元前80世紀から紀元300年頃までの8300年間を示すという。中国や朝鮮半島の影響を受けての金属器や農耕の登場をその境目にしてしているらしいが、縄文時代の長さは弥生時代の14倍近くに及ぶ。縄文と弥生の呼称は対として耳慣れているので、なぜそんなに長さが違うのか予々なんとなく釈然としない気分であった。

われわれホモ・サピエンスの祖先は700万年ほどまえにチンパンジーと分かれ直立二足歩行をするようになり、400～500万年まえには簡単な石器をつくり、素朴な言語による意思疎通も始めたという。一般でいう猿人である。190万年ほどまえにはハイデルベルク人、北京原人、ジャワ原人などの原人が現われ火を使うようになる。石器も細かく打製して用いたらしい。彼らはアフリカからユーラシアまで進出して10万年ほどまえまで活動していたという。彼らの脳は1000gでいどであったと推測されている。

呼称はよく耳にすると思うがこのころには欧州を中心にネアンデルタール人が登場する。彼らの脳は現代人より若干大きめの1500ccほどであったという。ところが彼らはおおよそ4万年まえに絶滅し、それを凌駕したのがわれわれの直接の祖先であるホモ・サピエンスで、フランスで発見されたクロマニオン人やイタリアのグリマルディ人などが含まれ、脳の大きさをはじめほぼ現代人と同じ体型であったらしい。

猿人や原人、さらには旧人であるネアンデルタール人の活躍した時期は旧石器時代と称される。直接的な現世人類の始まりとして新人の呼称を与えられるホモ・サピエンスは中石器時代から新石器時代にかかる4万年～1万年まえに活躍したとき

れる。

弥生時代が600年間、縄文時代が8300年間、世界の規模でみるとそのまえの中および新石器時代が数万年、旧石器時代が数百万年、それぞれの区別は石器の進歩や狩猟、魚撈、あるいは農耕の登場などを基準にしたものなのだろうが、時代を遡れば遡るほど時間軸が拡大していくようにみえる。

弥生時代に続くのは3世紀から6世紀の古墳時代、奈良時代が8世紀のおよそ100年間、これに続く平安時代は少し長く1200年ごろまでの400年間ほど、その後は鎌倉、室町、戦国、江戸時代へと受け継がれ明治以降の近代に移行し、こんにちの21世紀に至るのである。これらの歴史区分の期間をおおまかに俯瞰すると数万年、8000年、600年、300年、100年、400年、100～200年となり、現代に近づくに従って短縮して細切れになっているようにもみえる。わが国に限らず世界的にみても古代オリエント文明は紀元前3000年ごろに遡り、その後はやはり小刻みに分類される時代が続く。

脳の大きさが現代人と同じレベルになったときをヒトの始まりとしても、時代が進むに連れてヒトの歴史はどんどん小刻みになってくる印象があって、素朴に考えるとヒトの進化が加速している証左のようにも感じられるのであるが、実際には新しい時代ほど遺跡が残り、文字の登場によって史料も手にできるために時代を細かく分割しやすくなったために一見そのように映るだけなのかもしれない。ただ、そのように理解したつもりでも数万年から数千年まえまでのヒトの歴史はいかにも朦朧として長く感じられ、ときが過ぎるにつれて急速に時代が移り変わっているような感覚は否定しきれない。

石器に始まった文明というか科学は蒸気機関の発明、電気の発見、原子力の発見、二進法によるコンピュータの発明などなど、凄まじい勢いで進歩してきた。2024年春には新札が発行されたが、スマホでの決済が主流になりつつあって現金を持ち歩かないものも少なくないらしい。意思疎通の

多くも面倒な対面から絵文字でごまかすメールが人気のようなのである。男女平等は良いことに違いないが、少子化による人口減少は愚策を労して止まることがない。そのうち日本は東京だけになって地方は山と川だけになるのだろうか。戦後78年(2024年現在)だけに限ったとしても筆者にはその短い期間の変化は加速度的に写って落ち着かない。

加速度的な意味合いがよく使われる表現に指数関数的というものがある。指数関数は一定の割合で右上がりの直線を描いていく一次関数(図1)と異なってその曲線はなだらかに始まって急速に競り上がる(図2)。横軸を時の経過とし、縦軸を文明の進歩と捉えると確かにヒトにおける変遷のようにもみえる。

しかしである。ヒトはすべての面で進歩してきたのだろうか。地球規模でみれば現在も数千年ま

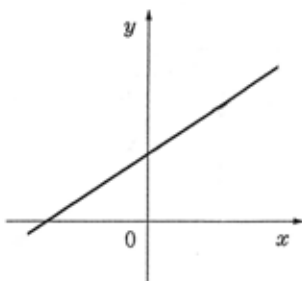


図1

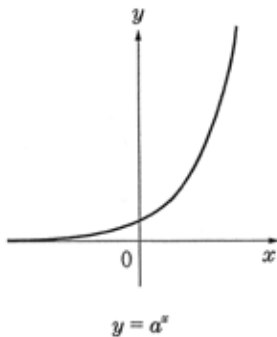


図2

えと同じように宗教の違いや国家拡大への執着による争いもどこかしこで繰り返されている。文明とは別に、文化というかヒトの精神面は発祥当初に素早い発展をみせながらもその後の数千年はさほど顕著な変化を遂げていないようにも感じられる。そこで話を少し戻す。

指数関数は数式 $y = a^x$ で表わされる。この y と x を入れ替えた $x = a^y$ は指数関数の逆関数と呼ばれる。これをグラフに表わすと x と y の座標軸が逆になってしまうので、一次関数や指数関数と同じに y を縦軸 x を横軸にとるように書き換えると対数関数 $y = \log_a x$ となる(図3)。

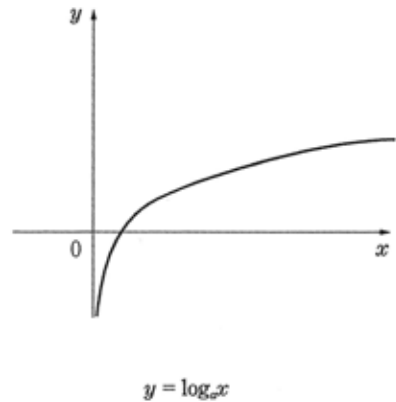


図3

この曲線は始まりから暫くは上昇するが、その後は大した上昇を欠き、なだらかに推移する。それはあたかもヒトの精神面の進化を象徴しているかのようである。

ヒトの歴史には二面性があって、ちょうど指数関数とその逆関数(対数関数)との関係にも似ているのではないかというのが筆者の誘う本稿の落ちである。猛暑の夏(2024年)にNHKの教育テレビで『3か月でマスターする数学』と銘打った番組が放送されていて、筆者も何回か興味深く視聴させてもらい、少なからずその影響を受けてしまったようです。

ごあいさつ

つじ泌尿器科クリニック 院長 辻 克和



はじめまして、2024年7月8日に「つじ泌尿器科クリニック」を開院しました 辻 克和（つじよしかず）です。当院は長くエスエル医療グループで親しまれてきた「夏目泌尿器科」が閉院されたのに伴い、患者さんを引き継ぐ形で新規開業いたしました。開院当初から多くの患者さんに来院していただき心より感謝申し上げますとともに、待ち時間が長くなり、ご迷惑をおかけしていますことを深くお詫び致します。

私は滋賀県彦根市の出身で、大学から名古屋で暮らしています。名古屋大学卒業後、名古屋掖済会病院で臨床研修を受け、名古屋大学泌尿器科に入局して名鉄病院、名古屋大学附属病院、社会保険中京病院（現JCHO中京病院）と40年にわたって病院で勤務をしてきました。中京病院を定年退職してからの開業は、かなり遅い方と言えます。これを後押ししてくださったのが夏目先生はもとより、大学の同級生で当グループ内で開業している二人の友人です。多くのアドバイスと助言で支えてもらったことをこの場をお借りしてお礼申し上げます。またエスエル医療グループにつきましても、開業してから知ったことではありますが、グループ創設者の向井先生のお孫さんの治療を担当したこともあり、深いご縁を感じています。

中京病院在職中は多くの患者さんを紹介していただき、悪性腫瘍、尿路結石、排尿障害、小児、腎移植など幅広い分野の手術を最前線で行ってまいりました。腎移植を含む腎不全治療は以前から中京泌尿器科の特徴でしたし、今では一般の方にも広く知られるようになったロボット支援（ダヴィンチ）手術も比較的早期の2012年には開始しました。また県内で4施設しか行っていない前立腺がん密封小線源治療も同年に開始しました。小児泌尿器科疾患については大学病院や小児病院が治療の中心である中、一般病院としては全国的にも数少ない専門施設として、県内外の手術が必要な患児を多く引き受けてきたと自負しています。診療以外の仕事では、愛知県がん診療連携協議会の前

立腺がんパス部会のリーダーとして、前立腺がんの術後と放射線治療後の二つの県統一連携パスの作成を行って来ました。県全体の地域医療連携に貢献できたと思っています。

このように病院ではどうしても手術が必要な患者さんが多くなるため、排尿困難や頻尿・尿失禁などの排尿障害の患者さんの治療に対しては、問診に十分な時間を割けず、受診間隔も長くなってしまいう傾向がありました。尿路感染についても抗生物質で治療はするものの、その後の予防のための生活指導などが十分にできていないと感じることもありました。また小児の尿失禁やおねしょなどの治療についても、適切な生活指導が必要となります。開業することにより、皆様に頻回に来院していただけるので、患者さんの訴えをよく聞き分析し、細やかな投薬管理や適切な指導ができるようになると考えています。

前立腺がんは、近年男性悪性腫瘍の罹患率のトップとなっています。また腎がんや尿路悪性腫瘍（膀胱がんなど）も増加傾向にあります。これら悪性腫瘍も早期診断が重要となります。尿検査も定性・沈渣ともに自動解析が院内で迅速にできるようになりました。腎腫瘍病変等を見逃さないように超音波検査（エコー）も最新のものを導入しました。膀胱がんの診断に必須の膀胱鏡検査も、男性では痛みの強い硬性鏡に替えて、痛みのない軟性ファイバーを完備しました。これらを活用し、またPSA検査による前立腺がん検診を積極的に行なうことで泌尿器科がんの早期発見に努めてまいります。悪性腫瘍と診断したときには豊富な経験を活かし、手術治療、放射線療法を含んだ最新の治療選択を提示し、今まで築き上げた広い人脈をもとに適切な医師、病院を紹介させていただきます。

つじ泌尿器科クリニックスタッフ一同、小さなお子様からご年配の方々まで、皆様から信頼されるクリニックを目指してまいります。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

クリニックに求められる関節リウマチの患者さんのプライマリケア

はっとり整形外科リウマチクリニック 院長 服部陽介



関節リウマチは、関節に炎症が起こり、痛みや腫れを伴って軟骨や骨が破壊される自己免疫疾患です。近年、治療法は生物学的製剤やJAK阻害薬、バイオシミラー、MTXの注射製剤などの導入により大きく進化し、多様な薬物治療が選択できるようになりました。しかし、関節リウマチの原因はまだ完全には解明されておらず、治療も根本的に治すことは難しい病気です。

日本では関節リウマチの有病率が0.7%とされ、全国に約82.5万人の患者さんがいます。名古屋市内では約1.6万人の患者さんがいると推定されており、決して珍しい病気ではありません。特に高齢化が進む中で、65歳以上の患者さんが全体の60%を占めるようになり、高齢発症のケースも増加しています。

関節リウマチは、発症後1～2年の間に関節破壊が進行することが多いため、早期発見と早期治療が非常に重要です。アメリカリウマチ学会（ACR）やヨーロッパリウマチ学会（EULAR）の分類基準に基づいた早期診断と、薬物治療アルゴリズムに従うことが国際的な標準治療として推奨されています。治療の目標は寛解です。寛解とは、痛みや腫れなどの症状がない状態のことを指します。適切な治療を早期に始める

ことで、患者さんは日常生活を快適に過ごせるようになります。多くの患者さんでは、寛解後も治療を続けることでその状態を維持しますが、特に発症から1～2年以内に適切な治療を行うと、薬を使わずに済む（ドラッグフリー）可能性も高まります。

2010年以降、超音波検査（関節エコー）が滑膜炎の診断や治療効果の判定に広く使われています。当院でも関節エコーを用いて、患者さんにリアルタイムで関節の状態を確認していただき、病状を視覚的に理解してもらうことで、治療方針に納得していただけるよう心がけています。

クリニックの役割は、関節リウマチの患者さんに対するプライマリケアと健康管理です。早期発見、早期治療、そして厳密な管理（タイトコントロール）を行い、患者さんの生活の質を高めることを目指しています。多くの患者さんが初めに訪れるのは大学病院や大病院ではなくクリニックです。当院では、初期段階で正確な診断と適切な情報提供を行い、リウマチ治療の最前線でサポートしています。

今後も、関節リウマチ患者さんが安心して治療を受けられるよう、質の高いプライマリケアと健康管理を提供していく所存です。

クリスマスケーキ

たまい眼科ほのぼのクリニック 院長 玉井 浩子

ほくは、ガードマンだ。自分で言うのもなんだが、結構腕は良い方だ。ここは日本なので拳銃もナイフも使わないが、優れた身体能力と鋭い勘がほくの取り柄だ。ほくは、今、あるお屋敷に住み込みで働いている。数年前、このお屋敷にはじめて来たとき、ほくはまだ右も左もわからぬ若造だった。そのとき、このお屋敷には、先輩がすでに務めていたんだ。先輩の来る少し前に、このお屋敷に強盗が入った。そのため、住み込みのガードマンを置くことに決めたそうだ。ほくが入った頃先輩は、一般常識も社会経験も身についたしっかりした方だった。ちょっと頑固だけどね。ほくは、その先輩にお屋敷の中の作法や、不審者の見分け方、不審者への対処法を学んだ。とりわけ、自分も傷つかずに屋敷の人々を守る方法をみっちり教わったんだ。

おっと、お屋敷に住んでいる人々の話をしなくては。ここには、御主人と奥様、それに息子さんが暮らしている。御主人も奥様も外で仕事をしている。息子さんは大学に通っていて、ほくたちとときどきいっしょにジョギングをする。三人とも、ほくたちガードマンにはとても優しく接してくれる。ほくたちにとって、食べることは大切だと言って、いつもおいしい食事を用意してくださるのはありがたいことだ。いつ不審者が来ても対処できるよう緊張しているほくたちにとって、食事の時ほど幸せな時間はない。温かいご飯に肉や魚や野菜など、おいしい食事ができてとても幸せだ。仕事のやりがいがあるってものだ。

奥様といえば、この前の日曜の夜、テレビドラマを見ながら突然泣き出したことがあった。ほくはどうしていいかわからず、奥様のもとへ駆け寄った。思えば、この1年はコロナ禍のために家の中がピリピリしていた。きっと奥様もつらいことがあったのだろう。駆け寄ったほくに、奥様は、いつもは言わない愚痴をいっぱいこぼしたんだ。仕事をしていてもコロナにかかるかもしれず怖いこと、社会がこれからどうなるのか不安なこと……。やっぱり思ったとおり、心配事はコロナに関することだった。ほくは、奥様が落ち着く

まで、じっくり奥様の話を聴いた。奥様はやがて落ち着いた。ほくはほっとして仕事を続けたんだ。

ある日の早朝、いつもの巡回警備をしていたとき、ふいに、何かイヤな気配を感じた。外を確認すると、門から庭のあたりに知らない誰かがいる。ほくはすぐに警戒モードに入った。体中が緊張するのがわかる。ほくは先輩に目で合図を送った。別行動をしていた先輩は、すぐに気がついてほくと合流した。「知らない誰か」は建物に入ろうとしているようだ。午前四時。お屋敷の人々はまだ眠っている。こんな時は、まず、ほくたちガードマンの存在をはっきりと相手に示すことにしている。2人がかりで警備しているところに忍び込むのは、なかなか難しいからだ。ほくたちを見て、諦めて立ち去ってくれるならそれでいい。ほくたちの存在を知って、それでも強行に侵入しようとするならば仕方ない。そのときは、一気に戦闘モードに入って戦うまでだ。ほくと先輩は、相手から見えるように窓の近くに立って大きな声で話をした。「知らない誰か」は、すぐにほくたちの存在に気がついた。……どうやら、侵入は諦めたようだ。門の隙間をすり抜け、まだ暗い闇に紛れて「知らない誰か」はどこかに消えてしまった。ほっとして、ほくらは警戒モードを解いた。

今年のクリスマスはコロナも落ち着いて、心なしかみんなウキウキしている。御主人も奥様も息子さんも年季の入った先輩も、みんな、以前より表情が明るい。みんなの幸せはほくの幸せだ。ほくの心もウキウキしている。今年は、ひさしぶりに、クリスマスイブの明日、みんなでケーキを食べようということになった。去年はコロナ禍でクリスマスどころじゃなかったので、今年は本当に幸せだと思う。

あ、奥様が御主人に何か言っている。「あ、あなた、明日のクリスマスケーキ、私たち三人と、ポチとシロも食べられるケーキにしてね。みんなで食べるんだから。」ああ、明日が待ちどおしい。ほくと先輩は尻尾を振りながらそろって「ワン」と鳴いた。

(完)

年 末 年 始 休 診 日

何も印のない場合は通常通りとなります。通常休診、土曜午後の休診などにご注意下さい。

階		2024 12月				2025 1月				備考
		28 (土)	29 (日)	30 (月)	31 (火)	1 (水)	2 (木)	3 (金)	4 (土)	
9	関谷耳鼻咽喉科	△	×	×	×	×	×	×	×	
	たまい眼科ほのぼのクリニック	△	×	×	×	×	×	×	×	
8	森川クリニック	△	×	×	×	×	×	×	×	
	はっとり整形外科リウマチクリニック	△	×	×	×	×	×	×	×	
	どい眼科クリニック	△	×	×	×	×	×	×	×	
	おおいわ消化器クリニック	△	×	×	×	×	×	×	×	
7	セントラル皮膚科	△	×	×	×	×	×	×	×	
	すずき呼吸器クリニック	△	×	×	×	×	×	×	×	
	金子内科	△	×	×	×	×	×	×	×	
	つじ泌尿器科クリニック	△	×	×	×	×	×	×	×	
	服部内科クリニック	△	×	×	×	×	×	×	×	
	こんどう女性クリニック	×	×	×	×	×	×	×	×	
6	仲尾歯科	△	×	×	×	×	×	×	×	
	古井脳神経外科	△	×	×	×	×	×	×	×	
	亀井内科・呼吸器科	△	×	×	×	×	×	×	×	
	さかもと内科腎クリニック	△	×	×	×	×	×	×	×	
	やまうち消化器内科クリニック	△	×	×	×	×	×	×	×	
5	古澤整形外科	△	×	×	×	×	×	×	×	
	中川内科	△	×	×	×	×	×	×	×	
	栄かとうクリニック	×	×	×	×	×	×	×	△	
	恒川内科	△	×	×	×	×	×	×	×	
	おおの内科	△	×	×	×	×	×	×	△	
	山川内科	△	×	×	×	×	×	×	×	
	岡神経科	△	×	×	×	×	×	×	×	
4	SL外科・乳腺クリニック	△	×	×	×	×	×	×	×	
	栄内科	△	×	×	×	×	×	×	×	
	はまだ代謝内科	△	×	×	×	×	×	×	×	
3	吉田内科	△	×	×	×	×	×	×	×	
	すぎやまレディスクリニック	△	×	×	×	×	×	×	×	
	セントラル小児科	△	×	×	×	×	×	×	×	
	岩瀬内科・消化器内科	△	×	×	×	×	×	×	×	
	渡辺クリニック	△	×	×	×	×	×	×	×	
	磯部内科クリニック	△	×	×	×	×	×	×	×	
	第一歯科医院	※	×	×	×	×	×	×	×	※12/28(土)は16:00まで

栄（SL 医療グループ）近辺 - 46 NHK 朝ドラの「虎に翼」を見て感じた事

昨年から今年にかけて、朝の連続ドラマの主人公（日本で最初に女性で裁判官になった人）の仕草を見て、「ア、子どもの頃の私とソックリだ」と感じました。小学校の頃から、兄や学校の先生が、例えば「人の真似をしないで自分の道を行け」と言われると、私は「ハテ、そうだろうか」もしくは「本当にそれで良いのだろうか」と、必ず疑ってしまうクセがありました。

この反応は朝ドラの女性主人公と全く同じです。兄はそんな時、「たてきちゃんは何時でも、先ず疑って反応するけど、それは良くないよ」と諭されるのですが、この提案についても「ハテ、ソウカナ」と再び疑

問を投げかけると、「お前は頑固なヤツだ」と諦めてしまうのでした。

しかしこの「ハテ、本当にそうだろうか」という疑問は、静岡のてんかんセンター赴任後に、益々エスカレートして、その結果「てんかん学」について、次々と新しい研究論文の発表につながりました。その結果は、名大の学外にいても博士号取得につながり、疑問癖は悪い癖では無いと確信しました。

森川クリニック 森川 建基

SL エスエル医療グループ 栄・中日ビル北斜向い 中区新栄町1-3 ☎951-3833

<http://www.sl-medical.gr.jp>

すぎやまレディスクリニック 院長 杉山 正子 ☎971-0930	はまだ代謝内科 院長 濱田 洋司 ☎957-3701	古井脳神経外科 院長 古井 倫士 ☎951-2223	服部内科クリニック 院長 服部 正樹 ☎962-8500
吉田内科 院長 吉田 修 ☎951-0321	古澤整形外科 院長 古澤 久俊 ☎954-0335	亀井内科・呼吸器科 院長 亀井 三博 ☎951-2577	森川クリニック 院長 森川 建基 ☎961-1709
セントラル小児科 院長 森 孝生 ☎971-6237	中川内科 院長 中川 順市 ☎951-7532	さかもと内科腎クリニック 院長 坂本いずみ ☎961-2061	はっとり整形外科リウマチクリニック 院長 服部 陽介 ☎228-1901
岩瀬内科・消化器内科 院長 岩瀬 弘明 ☎951-1255	栄かとうクリニック 院長 加藤 泰久 ☎961-3001	やまうち消化器内科クリニック 院長 山内 学 ☎957-2488	どい眼科クリニック 院長 土井 浩史 ☎211-9577
渡辺クリニック 院長 渡辺 正樹 ☎955-5060	恒川内科 院長 恒川 誠 ☎951-1265	セントラル皮膚科 院長 坪根 幹夫 ☎973-0495	おおいわ消化器クリニック 院長 大岩 哲哉 ☎959-5560
磯部内科クリニック 院長 磯部 智 ☎971-0515	おおの内科 院長 大野 秀樹 ☎971-0950	すずき呼吸器クリニック 院長 鈴木 清 ☎265-7250	たまい眼科ほのほのクリニック 院長 玉井 浩子 ☎955-8090
第一歯科医院 院長 高木 昭英 ☎951-1355	山川内科 院長 清水 周哉 ☎951-1211	金子内科 院長 金子 晴生 ☎971-5801	関谷耳鼻咽喉科 院長 関谷 健一 ☎951-7799
SL外科・乳腺クリニック 院長 伊藤 由加志 ☎971-6269	岡神経科 院長 岡 潔 ☎955-1606	つじ泌尿器科クリニック 院長 辻 克和 ☎951-2212	サカエきこえの相談室 ☎961-4133
栄内科 院長 山田 琢之 ☎955-8020	仲尾歯科 栄診療所 院長 仲尾 泰彦 ☎963-4182	こんどう女性クリニック 院長 近藤 育代 ☎951-0500	